



TEAM 南中・TEAM OGANZ



〒010-0521  
 男鹿市船川港南平沢字大畑台30  
**男鹿市立男鹿南中学校**  
 TEL/FAX 0185-23-3241/24-4947  
 URL: www.namahage.ne.jp/~mirami/jh/  
**校報通算 第227号**  
 1 TEAM 南中・TEAM OGANAN 26th

年度の締めくくり ② ~]コミュニティ・スクール学校運営協議会から

校長 長谷川 朋欣

2月4日、今年度4回目になる学校運営協議会を開催しました。その内容は、学校の重点目標である知・徳・体の三項目についての取組を報告し成果や課題等について評価していただくものです。その概要をお知らせします。

1 知：確かな学力の育成について

(1) 学校の取組

- ・授業づくりの重点を次の三つに絞って工夫する。
  - ①学級やグループ等の集団での学習を通して、思考力・判断力・表現力を高める
  - ②授業のねらいを生徒に示し意欲をもたせる
  - ③何ができたか・分かったかなどを振り返る
- ・授業研究会、相互授業参観等、全教員の研究授業提示と協議による研修を行う。
- ・生徒の縦割り班(学年混合の班)活動を行い、生徒が計画を立てて進める行事や委員会活動を行う。
- ・小中合同の研修会、地域の方々や事業所の協力を得た活動を行う。

(2) 講評・評価

- ・英語は外国人観光客の増加などで、その重要性が高まっている。通用する力をつけてほしい。
- ・県の学習状況調査からよく頑張っている。分かりやすい授業をお願いしたい。
- ・地域とのつながりは今後も頑張ってもらいたい。
- ・全校体制によるPDCAサイクルの活用、特に振り返りの重視に感心した。
- ・授業はもとより様々な活動で細やかな配慮によって取組がなされている。

評価 **A**

2 徳：豊かな人間性の育成について

(1) 学校の取組

- ・縦割り班活動など①生徒が自分で決める ②居場所づくり ③互いを認める人間関係づくりを重視した取組を行う。
- ・学年ごとの重点を置いた道徳の授業や心に響く学びの場(いのちの教室等)をつくる。
- ・生徒会活動やボランティア活動への積極的参加。

(2) 講評・評価

- ・生徒のあいさつがよく、嬉しい。
- ・調査結果から「自己有用感」や「人の役に立ちたい」などの項目がよく、素晴らしい。
- ・不登校は様々な実態に沿う対応が大変。
- ・ゲーム依存も不登校の一因になるのでは。子どもたちは多くの誘惑の中に置かれ、家庭でも学校でも見えない部分があるようだ。
- ・機会を見て、親との情報交換も必要。
- ・子どもの目線に立った支援を頑張って欲しい。
- ・不登校やいじめ等、事案発生後に説明が報道されるが日頃の細やかな配慮が大事。

評価 **A**

3 体：たくましい心と体の育成について

(1) 学校の取組

- ・あいさつ運動などよい学校文化をつくる。
- ・日常の目配りと教師間の情報交換
- ・「健やかアンケート」「夏休みチャレンジ」「冬休み前保健栄養指導」などの生活リズム・食事・運動等に関わる指導の充実
- ・歯磨きチェック等の委員会活動
- ・関係機関と連携したネットや薬物、交通事故防止教室、防災教室の実施

(2) 講評・評価

- ・ゲームやネットは子どもたち自身に改善策を話し合わせるのもよい。
- ・問題の原因をしっかりと調べ対策をよく検討しながら丁寧に働きかけながら改善を。

評価 **B**

※評価基準

- A：具体的な活動がなされ目標達成できた
- B：具体的活動はなされているが目標は達成できていない
- C：具体的活動なされず目標も達成されていない

今月号の校報タイトルは生徒会書記 伊藤翼さん(1年生)の作品です。ソフトテニス部員の翼さんは錦織選手のような弾丸サーブとなった「こだま」が迫ってくるイメージを表現しました。